

関係者各位

平成 28 年度 dec 地域政策研究セミナー
(共催：ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会・北海道 CSR 研究会)
ボランティア活動による次なるイノベーションの展望と課題（仮）
のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は、当社及び当研究会にご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、当社地域政策研究所とボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会（以下、ボラベーション研究会）、北海道 CSR 研究会の共催による下記のセミナーを開催いたします。

ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。ご出席をご希望の方は、下記の参加申込書をご送付いただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 平成 28 年 8 月 9 日（火） 14 時 15 分～16 時 45 分
2. 場所 （一社）北海道開発技術センター 大会議室
札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2-17 セントラル札幌北ビル 4 階
3. 内容（予定）

- | |
|--|
| <p>①活動報告：ボラベーション研究会年次報告（2015 年・2016 年）（15 分）
原文宏（研究会 事務局長／（一社）北海道開発技術センター 理事）</p> <p>②話題提供（各 20 分）</p> <ul style="list-style-type: none">●農都共生（農村と都市の共生）の大切さ
林美香子氏（慶應義塾大学大学院 SDM 研究科 特任教授）●道内企業連携 CSR 活動が生み出すもの（仮）
伊藤直哉氏（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院
国際広報論分野 教授）●小さな「農」のプロジェクトが生み出したもの
伊藤新氏（株式会社北海道アルバイト情報社 メディア企画室 マネージャー） <p>③パネルディスカッション（約 70 分）
テーマ：ボランティア活動による次なるイノベーションの展望と課題（仮）
パネリスト：伊藤直哉氏・林美香子氏・伊藤新氏・原文宏
コーディネーター：小磯修二氏（北海道大学公共政策学連携研究部附属
公共政策学研究センター 特任教授）</p> |
|--|

※セミナー後（17 時）、同会場にて懇親会を予定しております（会費：4,000 円）

以上

参加申込書

平成 28 年度 dec 地域政策研究セミナー

(共催：ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会・北海道 CSR 研究会)

ボランティア活動による次なるイノベーションの展望と課題 (仮)

申込先：ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会 事務局 (担当：小西・中前)
 〒001-0011 札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2-17 セントラル札幌北ビル 3F
 (一社) 北海道開発技術センター内
 TEL：011-738-3363 FAX：011-738-1889 E-mail：yukihane@decnet.or.jp

下記のように申し込みますので、よろしくお取り扱い下さい。

代表者氏名		
代表者所属・役職		
代表者連絡先	〒 Tel: _____ Fax: _____ E-mail: _____	
お連れ様のお名前	出欠 (どちらかに○記を付す)	
	セミナー (8月9日(火)14時15分～)	懇親会 (17時～)
	出席・欠席	出席・欠席
連絡事項等 (ご希望やお気づきのことがありましたら右欄にご記入下さい。)		